

平成20年度

# 6学年

# 国語科 授業計画

広島市立 石内小学校

## ◆ 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

## ◆ 評価の観点

- ・国語に対する関心をもち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとする。
- ・目的や意図に応じ、考えた事や伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりする。
- ・目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章を書く。
- ・目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。
- ・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語について基礎的な事項について正確に理解している。書写では、文字の形、大きさ、配列、毛筆では、点画の筆づかい、文字の組立て方、字配りなどを理解して文字を正しく書く。

## ◆ 評価の方法

学習態度 発表 音読 情報収集 作品 ノート テスト

## ◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風切るつばさ</li> <li>○ 詩</li> <li>○ 伝え合おう、わたしの意見</li> <li>○ イースター島にはなぜ森林がないのか</li> <li>○ ヒロシマのうた</li> <li>○ ニュース番組を作ろう</li> <li>○ 毛筆(湖・成長・ふれあい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心情や情景を想像し、表現を味わいながら、朗読の工夫をする。</li> <li>・自分の考えや意図が伝わる工夫をして話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。</li> <li>・文章の構成を考えて、書かれている内容を正しく読み取る。</li> <li>・時間の流れに注意して物語の流れをとらえ、最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめる。</li> <li>・ニュース番組の構成を考え、役割に応じた話し方を工夫して話したり、話し手の工夫に注意しながら聞いたりする。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宮沢賢治</li> <li>○ 言葉の意味を追って</li> <li>○ 「わたしの意見」を書こう</li> <li>○ 百年前の未来予測</li> <li>○ 海のいのち</li> <li>○ 「未来へのメッセージ」を書こう</li> <li>○ 毛筆(白い雲・世界平和・希望・伝統を守る・未来の夢)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮沢賢治の生涯について読み取るとともに、作家と作品のかかわりについて自分の考えをまとめて話し合う。</li> <li>・文章の構成に注意して書かれていることを読み取り、言葉への関心を深める。</li> <li>・日ごろの生活の言葉を見直して問題点を見つけ、書く事柄を整理し効果的な組み立てで文章を書く。</li> <li>・文章の内容から筆者の考えを読み取り、「未来」のについての考えを明確にする。</li> <li>・人物の生き方を考えながら物語を読み、最も強く語りかけてきたことを紹介し合う。</li> <li>・今までに学習した表現方法を生かして思い出や将来への願いをまとめることで、主体的に学習する力を身につける。</li> </ul>

◆ 教科の目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

◆ 評価の観点

- ・我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心を持ち、それを調べることを通して、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情をもつとともに、平和を願う日本人としてともに生きていくことが大切であることの自覚をもとうとする。
- ・我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象から学習の問題を見いだして追求・解決し、社会的事象の意味をより広い視野から考え、適切に判断する。
- ・我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象を的確に調査したり、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりするとともに、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現する。
- ・国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方や及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解している。

◆ 評価の方法

学習態度 行動観察 発言 発表 作品 ノート テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1 米づくりのむらから古墳のくにへ</li> <li>2 聖武天皇と奈良の大仏へ</li> <li>3 源頼朝と鎌倉幕府</li> <li>4 3人の武将と全国統一</li> <li>5 徳川家光と江戸幕府</li> <li>6 江戸の文化をつくりあげた人々</li> <li>7 明治維新をつくりあげた人々</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米作りのむらが次第にくにへと発展し、やがて大和朝廷により国土が統一されていく様子をとらえる。</li> <li>・聖武天皇の大仏づくりを中心に調べ、このころ天皇を中心とした政治が確立したことをとらえる。貴族が力をもち、日本風の文化がおこったことをとらえる。</li> <li>・源頼朝の働きを中心に、このころ武士による政治が始まったことをとらえる。室町時代の代表的な建物か絵画を調べ、室町文化が生まれたことをとらえる。</li> <li>・各児童が織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の中から一人を選んで調べるとともに、調べたことを相互に伝え合い、戦国の世が統一されていく様子をとらえる。</li> <li>・徳川家光の働きを中心に、大名統制や鎖国などについて調べ、江戸時代に身分制度が確立し、武士に寄る政治が安定したことをとらえる。</li> <li>・伊能忠敬の働きを調べるとともに、歌舞伎か浮世絵、国学か蘭学のうち、それぞれ一つを選んで調べ、社会が安定するにつれて町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことをとらえる。</li> <li>・大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允らの働きを中心に、明治維新、文明開化大日本帝国憲法発布など、日本の近代化が進められていったころの様子をとらえる。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 世界に歩み出した日本</li> <li>9 長く続いた戦争と人々のくらし</li> <li>10 新しい日本、平和な日本へ</li> <li>○ わたしたちの生活と政治                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1 わたしたちの願いを実現する政治</li> <li>2 わたしたちのくらしと日本国憲法</li> </ul> </li> <li>○ 世界の中の日本                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1 日本と関係の深い国々</li> <li>2 世界の平和と日本の役割</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸奥宗光の条約改正の働きを中心に、日本の国力が充実するにもなつて、国際社会における日本の地位が向上していったことをとらえる。</li> <li>・日中戦争から第二次世界大戦に至る歴史について調べ、敗戦によって国民が大きな被害を受けたことや、中国をはじめとする諸外国に大きな損害を与えたことをとらえる。</li> <li>・戦後の諸改革やオリンピックの開催について調べ、日本が民主的な国家として出発し、国民生活が向上するとともに国際社会の中で重要な役割をはたすようになったことをとらえる。</li> <li>・日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方を理解できるようにし、平和を願う日本人として、世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。</li> <li>・結びつきを深める世界の中で、世界の人々と相互に理解を深め合い、平和な国際社会の実現を目指して、我が国が国際社会の中で重要な働きを果たしていることを考え、世界の国々の人々と共に生きていく大切さを自覚する。</li> </ul>

# 6 学年 算数科 授業計画

広島市立 石内小学校

## ◆ 教科の目標

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しを持ち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活に生かそうとする態度を育てる。

## ◆ 評価の観点

- ・数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理をしたり、論理的に考えたりすることのよさに気づき、進んで活用しようとする。
- ・算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、論理的に考えたり、発展的、統合的に考えたりする。
- ・分数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、立体図形の体積を求めたり、立体図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりする。
- ・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、体積の求め方、基本的な立体図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。

## ◆ 評価の方法

学習態度 発表 ノートドリル プリント テスト

## ◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 倍数と約数</li> <li>○ 積や商の見積もり</li> <li>○ 分数</li> <li>○ いろいろな立体</li> <li>○ 体積</li> <li>○ 単位量当たりの大きさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数についての理解を一層深める。</li> <li>・数についての理解を一層深め、目的に応じて、積や商を概数で見積もる。</li> <li>・分数についての理解を一層深め、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを適切に用いる。</li> <li>・図形についての観察や構成などの活動を通して、基本的な立体図形についての理解を深め、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察する。</li> <li>・体積の概念について理解し、簡単な場合について、体積を求める。</li> <li>・平均の意味、求め方、使い方について理解する。</li> <li>・混み具合、人口密度、とれ高、単位などをもとに、単位量当たりの大きさで比べる考え方を理解する。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分数のかけ算とわり算(1)(2)</li> <li>○ 倍と割合</li> <li>○ およその面積</li> <li>○ 比</li> <li>○ 比例</li> <li>○ 算数のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の乗法及び除法の意味について理解し、適切に用いて表す。</li> <li>・割合についての理解を深める。</li> <li>・概形のおよその面積を求める。</li> <li>・比の意味について理解し、用いる表す。</li> <li>・伴って変わる二つの数量について、関係を考察する。</li> <li>・小学校で学習した内容について、領域別に、まとめと総復習をする。</li> </ul>

平成20年度

# 6学年 理科 授業計画

広島市立 石内小学校

## ◆ 教科の目標

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

## ◆ 評価の観点

- ・自然事象を意欲的に追求し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。
- ・自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、多面的に追求し、相互関係や規則性をとらえ、問題を解決する。
- ・問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。
- ・生物は互いに類似した体のつくりと働きをもち環境とかかわって生きていることや、物に外から条件を加えると物の性質や働きが変わること、土地のつくりと変化には決まりがあることなどを理解している。

## ◆ 評価の方法

学習態度 実験態度 発言 発表 ノート テスト

## ◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○ ものが燃えるとき	・植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを知る。
	○ ヒトや動物の体	・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることなどを知る。 ・食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されること知る。 ・血液は、心臓のはたらきで体内を巡り、養分、酸素および二酸化炭素を運んでいることを知る。
	○ 生物とかんきょう	・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることや、生きている植物体や枯れた植物体は動物によって食べられることを知る。 ・生物は、食物、水および空気を通して周囲の環境とかかわって生きていることを知る。
	○ 水よう液の性質	・水溶液には、金属を変化させるものがあることを知る。 ・水溶液には、酸性、アルカリ性および中性のものがあることや、気体が溶けているものがあることを知る。
後期	○ 大地をさぐる	・土地は、礫、砂、粘土、火山灰および岩石からできており、層をつくって広がっているものがあることを知る。 ・地層は、流れる水のはたらきや火山の噴火によってでき、化石が含まれているものがあることを知る。
	○ 大地の変化	・土地は、火山の噴火によって変化することを知る。 ・土地は、地震によってへんかすることを知る。
	○ 電磁石のはたらき	・電流の流れているコイルは、鉄心を磁化するはたらきがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極が変わることを知る。 ・電磁石の強さは、電流の強さや導線の巻き数によって変わることを調べる。
	○ 自然とともに生きる	・わたしたちのくらしが自然と深くかかわっていることを知る。

平成20年度

# 6学年

# 図画工作科 授業計画

広島市立 石内小学校

## ◆ 教科の目標

表現及び観賞の活動を通して、つくりだす喜びを味わうようにするとともに造形的な創造活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。

## ◆ 評価の観点

- ・自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。
- ・見たことや感じたことなどをもとに、想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな表現を構想する。
- ・表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。
- ・造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方の良さを感じ取ったり、味わったりする。

## ◆ 評価の方法

関心・意欲・態度 発想や構想 技能 材料や用具の使い方 作品 鑑賞

## ◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○ 思いを広げて	・教科書の作品を見て、それらを見比べながら、鑑賞することを楽しむ。
	○ 地球アート 光と風で	・風や光のある場所で、いろいろつくりたいものを想像し、楽しい飾り方や、風で動いても丈夫なつなぎ方などを工夫する。
	○ やさしい紙	・材料のよさを生かして、つくりたいものを構想し、つくりたい形になるように紙の特徴を生かして組み合わせ方を工夫する。
	○ くねくねアート ランプシェード	・つくりたいものの形をアイデアスケッチなどで確かめ、材料の特徴を生かした組み合わせ方や用具の使い方などを工夫する。
	○ きょうかしよ びじゅつかん	・作品を自分の生活体験表現や表現と関連づけて鑑賞し、作者の意図などを作品から解釈しようとする。
後期	○ 色を選んで 木版で表すと	・白や黒の対比など、版による表現の特徴を生かして下絵を構想し、彫りや刷りの効果を確かめながら、見通しをもって製作する。
	○ あたしの町 身近なものを見つめて	・身近なものや友だちを見つめ直し、構図を工夫して、線の美しさが出るように線を引いて彩色する。
	○ のばして、まるめて、 くっつけて	・粘土の板を曲げたり、つけたりしてできる形や空間に興味を持ち、いろいろな用具を使い、好きな形を丈夫につくる。
	○ 生まれ変わった板たち 生活に使えるHAKO	・板材を生かして、生活に役立つものをつくる。
	○ 夢を集めて	・みんなで協力してアイデアを出し合い、卒業などの記念になるものをつくる。

# 6学年 体育科 授業計画

広島市立 石内小学校

## ◆ 教科の目標

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

## ◆ 評価の観点

### 【運動領域】

- ・進んで運動の楽しさや喜びを求めるとともに、協力、公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意して運動をしようとする。
- ・進んで運動の楽しさや喜びを求めるとともに、協力、公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意して運動をしようとする。
- ・自己の能力に応じた課題を理解して、運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。

### 【保健領域】

- ・病気の予防について関心をもち、自ら健康的な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。
- ・病気の予防について、課題の解決を目指して考え、判断している。
- ・健康の保持増進に必要な生活行動及び病気の起こり方とその予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

## ◆ 評価の方法

学習態度 準備・片付け 実技の発表 テスト 学習カード

	学習すること	学習のポイント
前期	○ マット運動	・できる技を上手にしたり、できそうな技に挑戦したりして楽しむ。 ・リズムカルな助走から高くとび、友達と競争したり、記録に挑戦したりして楽しむ。
	○ 走り高とび	
	○ スポーツテスト	
	○ 体力を高める運動	・運動のしかたを工夫したりして、体力を高める。
	○ 水泳	・できる泳ぎ方で記録を伸ばしたり、できそうな泳ぎ方に挑戦したりして楽しむ。
	○ とびばこ運動	・できる技を上手にしたり、できそうなとび方に挑戦したりして楽しむ。
	保 病気の予防(4)	・外国や日本の民謡の踊り方を覚えて、楽しく踊る。 生活の仕方が関係する病気の予防について、タバコと酒の害・薬物乱用の害と健康について理解する。
後期	○ 短距離走・ハードル走	・姿勢に気を付けて走ったり、ハードルをリズムカルに走り越して、友達と競争したり、記録に挑戦したりして楽しむ。 ・いろいろなスポーツの様子を、踊って楽しむ。
	○ ダンス	
	○ ソフトバレーボール	・せめ方や守り方を工夫して、ゲームを楽しむ。
	○ わたしたちの地球	・わたしたちの住んでいる地球の様子を、踊って楽しむ。
	○ サッカー	・せめ方や守り方を工夫して、ゲームを楽しむ。
	保 病気の予防	・病気の起こり方や、病原体がもとになっておこる病気の予防について理解する。

◆ 教科の目標

- 地域の学習素材から自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- 学び方や者の見方を身につけ、問題解決に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えたり進んで地域にかかわろうとしたりする資質を育む。

◆ 評価の観点

- ・地域の学習素材を起点として、自ら課題を見つけ、課題をよりよく解決しようとしている。
- ・これまでに学習した内容からさらにかだいをを見つけ、広げたり深めたりしながら、地域の一員としてよりよく生きるために考えようとしたり、行動にむすびつけようとしたりしている。

◆ 評価の方法

活動の様子 活動の記録 発言 発表の内容 作品 感想文 態度

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古代米を育てよう</li> <li>○ 野菜を育てよう</li> <li>○ 修学旅行に向けて</li> <li>○ 野外活動に向けて</li> <li>○ 石内のことを知ろう</li> <li>○ パソコンの活用</li> <li>○ 英語にふれよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に応じて、情報手段を適切に活用したり、田畑の管理に粘り強く取り組んだりする。</li> <li>・野菜を育て、収穫し・調理する計画や活動をする。</li> <li>・旅行する場所を調べたり、しおり作りをしたりして、楽しく充実した修学旅行になるよう取り組んでいく。</li> <li>・しおり作りをしたり活動の計画を立てたりして、楽しく充実した野外活動になるよう取り組んでいく。</li> <li>・石内の歴史や多くの城跡、石内小学校の130年の変遷、地域の様子などを調べ発表する。</li> <li>・パソコンの扱い方に慣れる。</li> <li>・英語に親しむために簡単な英語の絵本やことばに触れる。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 稲刈りをしよう</li> <li>○ 楽園祭に向けて取り組もう</li> <li>○ 英語にふれよう</li> <li>○ パソコンの活用</li> <li>○ お別れPTCをしよう</li> <li>○ 心に残るアルバム文集やプレゼントをつくろう</li> <li>○ 卒業に向けて取り組もう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代米を収穫し、楽園祭での活用方法を考える。</li> <li>・古代食・住居・道具などのグループに分かれ、様々な方法や考え方で追求し、活用する。</li> <li>・英語に親しむために簡単な英語の絵本やことばに触れる。</li> <li>・パソコンの扱い方に慣れる。</li> <li>・今までお世話になったおうちの方に感謝し、昼食会を開き、親睦を深める。</li> <li>・アルバムに載せる写真選び、学級文集作り、プレゼント作りをする。</li> <li>・卒業式に向けての練習に意欲的に取り組む。</li> </ul>

◆ 教科の目標

一人一人の人格を尊重し、互いを思いやる心や認め合い支えあう態度を育てる。

- ・ 命を大切にすること
- ・ 根気よく最後までがんばりぬくこと
- ・ 仲良く助け合い励まし合うこと

6年重点目標

だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。

◆ 評価の観点

(1) 道徳の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。道徳教育における評価は、教師が成長を見守りよりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きをもつものです。授業中の児童の発言、生活の様子、日記、作文、心のノートなどで道徳性の共感的理解に努め、その結果を授業で生かすようにしています。

(2) 道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て、いつも動的、発展的に評価します。

